

第 39 回理事会 議事録

1 開催場所

札幌市中央区北 5 条西 6 丁目 札幌センタービル 5 階 C 2 会議室

2 開催日時

2022 年 6 月 2 日 (木) 15 時 00 分から 15 時 15 分まで

3 理事総数 10 名

4 出席の状況

内訳	理事(出席)	8 名	濱田 康行、鉢呂 建市、青木 次郎、佐藤 季規 瀬尾 英生、田村 亨、林 美香子、山崎 弘善
	理事(欠席)	2 名	田村 修二、谷 一之
	監事(出席)	2 名	末永 仁宏、山本 眞樹夫
	議事録作成者		鉢呂 建市(専務理事)

5 定足数の報告

定刻に至り、濱田理事長が挨拶の後、理事 10 名のうち、過半数が出席しているので、定款第 4 1 条の規定により本理事会が成立している旨を告げた。

6 議案の審議状況及び議案別議決の結果等

次に、濱田理事長から定款 4 4 条第 2 項の規定により、議事録署名人を理事長、末永監事、山本監事とする旨を告げて議事に入った。

第 1 号議案「2022 年度収支予算について (再承認)」の件

本件に関して、鉢呂専務理事から、前回の理事会でお諮りした収支予算について、財団が実施する事業については影響を与えないものとする。については、これらの状況を踏まえ、組織体制について結論が出た段階で、必要があれば予算の補正手続きをとることとし、改めて「2022 年度収支予算」について再承認をお願いしたい旨の説明をした。

本件に関して瀬尾理事から、収支予算書上については理解したが、前回の理事会で問題提起された道庁との関係について、道庁からの後任はいらぬという話であったが、その道は完全に閉ざすべきではなく、必要に応じて適任者をいただくという理解のもと、収支予算書について承認したいと発言があった。濱田理事長から、道庁と縁を切るということではなく、今年は人材をいただかないが今後とも協力関係はお願いしたいと申し上げてきた旨を説明した。

次に、青木理事から、今回の件については、私が異議申し立てをしたものであるが、先ほど瀬尾理事が話された内容であれば賛成するとの発言があった。

その後、審議の結果、第 1 号議案については、原案のとおり出席理事全員一致で再承認された。

次に、鉢呂専務理事から次回理事会の予定などについて説明し、その後特に発言はなく、理事長が「以上をもって本日の議事は全て終了した。」と宣言し、15時15分に理事会を閉会し、解散した。

上記の議決等を明確にするため、議事録署名人は、本議事録に署名、押印する。

2022年6月 日

公益財団法人はまなす財団 第39回理事会

理 事 長 濱 田 康 行 ㊟

監 事 末 永 仁 宏 ㊟

監 事 山 本 眞樹夫 ㊟